

参考様式第5-2号

肥料価格高騰対策事業 参加農業者名簿

「肥料価格高騰対策事業取組実績報告書」の添付資料として使用する場合は、「支援予定額」を「支援額」としてください。

No.	参加農業者 氏名 又は 法人・組織名	支援額 (円)				
		当年の肥料費 A	支援額 B=C+D-F 注2なお書き	$C = A * (1 - 1 / (\text{高騰率}) / 0.9) * 0.7$	調整額 $* (1 - 1 / (\text{高騰率}) / 0.9) * 0.15$	
秋用肥料 (令和4年6月~令和4年10月購入分)						
1	㈱鹿兒島農園	880,000	154,349	127,111	27,238	20,000
2	鴨池 太郎	1,000,000	175,396	144,444	30,952	10,000
3	㈱鴨池農園	1,180,000	206,967	170,444	36,523	
4	大隅 太郎	200,000	35,078	28,888	6,190	
5	始良 六郎	100,000	17,539	14,444	3,095	2,000
6	大島 花子	100,000	17,539	14,444	3,095	
			0	0	0	
集計	-	3,460,000	606,868	499,775	107,093	32,000

秋肥と春肥はそれぞれ作成してください。  
該当するいずれかを選択してください。

**令和5年度に支払いのあった分の名簿としてください**

○1月迄に申請した分は記載しないでください。  
○2月以降に申請2回以上の取組実施者は、  
→最終変更の値としてください

【例】

- ・鴨池太郎は2回目の申請時に、10,000円の追加変更を行い、2段書きにしていた。  
→当初:990,000, 変更:+10,000  
⇒1段書きで100,000と記載
- ・㈱鴨池農園は2回目の申請時に、20,000円の減額変更を行い、2段書きにしていた。  
→当初:1,200,000, 変更:-20,000  
⇒1段書きで1,180,000と記載
- ・薩摩農園は2回目の申請時に、申請を取り下げた(50,000円の減額変更)  
→当初:50,000, 変更:-50,000  
⇒削除
- ・2回目の申請時に、2名追加した。  
始良六郎:100,000円, 大島花子:100,000円  
⇒変更申請のまま

※変更額でまとめて記載すると、計算式の関係で実際の支援額と差が生じる場合があります。その際には、計算式の部分に直接数値を入力していただいで構いません。

- (注)
- 「肥料価格高騰対策事業取組計画書」の添付資料として使用する場合は、当年の肥料費は、秋用肥料について～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）を提出  
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。
  - 支援予定額の算出方法は下記のとおりとする。  
支援予定額＝国支援金＋県上乗せ支援金－調整額  
国支援金＝{(当年の肥料費)－(当年の肥料費)÷(高騰率)÷0.9}×0.7  
県上乗せ支援金＝国支援金×1.5/7
- ただし、当年における肥料コスト上昇に対して、都道府県及び市町村から支援金（以下「地方自治体支援金」とされている場合）にあつては、この交付額から以下の算定式により算出される調整額を控除したものを支援予定額  
なお、調整額が負の数の場合は、調整額は0とする。また支援金が交付されている旨、備考欄に記載する。  
(調整額)＝(地方自治体支援金)－{(当年の肥料費)－(当年の肥料費)÷(高騰率)÷0.9}×0.15}
- 「肥料価格高騰対策事業取組実績報告書」の添付資料として使用する場合は、「支援予定額」を「支援額」とする。
  - 適宜、行を追加すること。
  - 表中に十分に記載できない場合には、別紙で提出すること。